

平成30年12月10日
京都工芸繊維大学

平成33年度（2021年度）大学入学者選抜について（予告）

京都工芸繊維大学では、平成32年度（2020年度）に実施する平成33年度（2021年度）入試から、入学者選抜実施方法等の一部を以下のとおり変更します。

なお、より詳細な実施案については、平成30年度（2018年度）末を目途に公表予定です。

1. 入試区分

各入試区分の名称を以下のとおり変更します。

- ・「一般入試」→「一般選抜」
- ・「ダビンチ（AO）入試」→「ダビンチ入試（総合型選抜）」

2. 大学入学共通テスト

1) 大学入学共通テストにおいて課す教科・科目

一般選抜（前期日程・後期日程）においては、これまでどおり原則5教科7科目を課します。

2) 英語

一般選抜（前期日程・後期日程）では、大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を課す予定です。

なお、独立行政法人大学入試センターが大学入試英語成績提供システムへの参加要件を満たしていると確認した資格・検定試験の活用については、慎重に検討を重ねています。

これまで本学は、英語4技能（聞く・話す・読む・書く）を適切に評価しかつ伸ばす教育に、積極的に取り組んできました。たとえば、一般入試の英語試験では、「読む」力と「書く」力を長文読解および自由英作文によって評価し、ダビンチ（AO）入試の募集区分【グローバル】では、「書く」力に加えて「話す」力を、本学が独自に開発したコンピュータ方式スピーキングテストによって評価しています。入学後も、「英語鍛え上げプログラム」を提供し、「聞く」力を伸ばすe-learningを導入するとともに、上記スピーキングテストを全1年生に課すなど、4技能を統合的に伸ばす教育に取り組んでおり、その成果は、TOEIC等の資格・検定試験の成績にも顕著に現れています。

このように本学では、入学者選抜と入学後の教育を不可分なものと考えています。今後の入学者選抜についても、入学後の教育を踏まえて、受験生の多様な英語能力をどのように評価すべきかを慎重に検討します。

3) 記述式問題

一般選抜（前期日程・後期日程）においては、大学入学共通テストにおける国語及び数学の記述式問題を課す予定としています。

なお、具体的な活用方法については、試行調査の実施結果等を参考に慎重に検討を進め公表する予定です。

3. 一般選抜

本学のアドミッションポリシーに基づき、「学力の3要素」（「基礎的・基本的な知識・技能」「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）を多面的・総合的に評価する選抜方法を検討します。